

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	青少年の家	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 川崎市青少年の家共同運営事業体 ・代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中区今井南町514-1 ・構成員名 特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター 理事長 宮田 進 川崎市高津区下作延5-11-8	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 40,592人 (H25年度:40,819人) 内、宿泊:26,845人(H25年度:26,454人) 内、日帰り:13,747人(H25年度:14,365人)	②年間延べ利用団体数 870団体 (H25年度:861団体) 内、宿泊:385団体(H25年度:369団体) 内、日帰り:485団体(H25年度:492団体)																												
収支実績	<table border="0"> <tr> <td>1 収入</td> <td>単位:円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>78,470,219</td> </tr> <tr> <td>利用料金収入</td> <td>13,987,500</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>2,244,580</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>94,702,299</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費・賃金</td> <td>10,798,124</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td>23,137,756</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>30,852,768</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>894,891</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td>4,703,475</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>23,342,928</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>93,729,942</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>972,357</td> </tr> </table>		1 収入	単位:円	指定管理料	78,470,219	利用料金収入	13,987,500	その他収入	2,244,580	合計	94,702,299	2 支出		人件費・賃金	10,798,124	光熱水費	23,137,756	委託費	30,852,768	消耗品費	894,891	修繕費	4,703,475	その他経費	23,342,928	合計	93,729,942	差引	972,357
1 収入	単位:円																													
指定管理料	78,470,219																													
利用料金収入	13,987,500																													
その他収入	2,244,580																													
合計	94,702,299																													
2 支出																														
人件費・賃金	10,798,124																													
光熱水費	23,137,756																													
委託費	30,852,768																													
消耗品費	894,891																													
修繕費	4,703,475																													
その他経費	23,342,928																													
合計	93,729,942																													
差引	972,357																													
サービス向上の取組	利用者アンケートを実施しサービスの向上に努めている。また、学校や地域と連携して事業の充実に努めた。																													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
利用者満足度	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	(評価の理由) 概ね計画どおりの事業が実施されていた。 前年と比較すると利用者数は前年並みであったが、第1期指定管理時の平均利用者数と比較すると約9.6%の増であり、高い利用率を維持している。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:37,019人				
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由) 仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。 概ね計画どおりの経費執行だった。 施設老朽化による急な修繕費が多かったが、経費節減により対応した上で平成26年度は970千円の黒字となった。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) 自主事業について、市政だよりへエントリーしたりチラシを作成し、近隣の図書館・市民館等に配布し広報した。平成26年度は新聞取材を受け、ラジオ番組での定期的な情報配信枠を設けるなどした。ホームページ上で、予約空き状況の提供に加え、学校・青少年団体の利用が無い日に市外の一般団体でも利用ができる旨をページを設けて案内、利用申込の際に提出する事業計画のモデルプランも掲載した。利用者に対する接遇について、適切に対応をしていた。 学校・行政機関、地域団体、地域住民等と連携し、事業の充実に取り組んだ。青少年の家フェスタの来場者数も増加し約1,300名(25年度約1,100名)が参加した。近隣小中学校に通う児童・生徒を対象とした通学合宿「ほのぼのスクール」は38名が参加、内昨年度からのリピーターが16人おり、地域住民のニーズに即していることがうかがえる。 アンケートを実施して利用者の意見・要望を吸い上げ、必要に応じて回答し、運営に反映し対応状況についても記録している。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 利用者の安全、安心、快適な利用を確保するため、適正な職員配置が行われ、年間を通して予定どおりの研修が計画的に実施された。また、個人情報の取扱いについて、適切な運用がなされた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
災害発生時のマニュアル等が整備されているか					
(評価の理由) 修繕の必要な箇所を把握し、利用者の声を聞きながら適正な修繕を行っていた。事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がされていた。防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	65	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

これまでに積み上げてきたノウハウを生かし、充実した事業展開を実施していた。青少年ボランティアの育成・事業参画や通学合宿により青少年の自主性を育てるなど、専門性を十分に発揮した事業展開を行っている。また、利用者へのサービス向上に向け、ホームページを始めとした広報の工夫、アンケート結果の反映を行い、利用者のニーズに応じて事業を推進した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、青少年の宿泊研修及び体験学習のために適切な管理運営を行い、各種広報媒体等の更なる充実に努めること。日常的な施設の保守点検に努めること。利用促進にあたり、理科教育の充実などこれからのニーズに対応した事業展開を行うこと。